

会長あいさつ

10年の活動を振り返って



長年に渡り、西区内で行われてきた環境保全活動を継続し、西区の自然をきれいなまま後世まで引き継ぎたいという思いから、各連合町内会をはじめ、NPO法人や学校、企業など有志一同が手を合わせ、平成16年5月に「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」を設立しました。

それから10年が経過し、平成26年4月に、区民への環境活動の定着をさらに進めるため、団体名称を「西区環境まちづくり協議会」へと、より親しみやすいものに変更し、「環境教育・人づくり」「環境保全」「省エネ・リサイクル」の3つの方針の下、各種環境事業を展開しています。

現在では、「やまめの稚魚放流」や「西区アダプト・プログラム」など従来より行っている活動の継続に加え、自然体験学習を中心とする、さまざまな新規事業を試み、当協議会の活動は年々規模を拡大しています。

地域の課題としては、環境活動の担い手不足を懸念する声がありますが、そうした課題解決に向け、当協議会では、次世代実践者の育成を目的として、イベント等を通じて、小学生やその親などを中心に、幅広い世代への環境啓発を行っているところです。

今後も、当協議会を中心に西区が一丸となり、環境に配慮した取り組みを進めてまいりますので、引き続き西区の環境活動について、何卒ご協力・ご支援の程、お願い申し上げます。

平成27年3月

西区環境まちづくり協議会 会長 河村 雄司

西区長あいさつ

設立10周年を祝して



西区環境まちづくり協議会が、設立10周年という節目の年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。また、設立されてからこれまで、ご尽力された関係者の皆様に深く感謝と敬意を表します。

環境問題に対する関心が年々高まっているということもありますが、これまで続けてきた地道な取組を通して、環境に配慮した行動の数々が確実に我々の生活に定着し、西区環境まちづくり協議会が目指している「環境に優しいまち」の実現に向けて一歩ずつ近づいていることを実感しています。

札幌市では、まちの魅力を高め、次の世代に引き継いでいくための今後10年間の新たなまちづくりの指針として、平成25年に「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定いたしました。このビジョンにおいて、「自然と共生するまち」「資源やエネルギーを有効活用するまち」「市民が環境について学び行動するまち」にすることを基本目標にあげ、次世代へつなげる持続可能なまちづくりを目指しています。

環境問題が多岐にわたる現在、札幌市、そして西区の恵まれた自然を次世代へつなげていくためには、地域・企業・行政が連携・協力しながら、取り組んでいく必要があります。そうしたなか、西区環境まちづくり協議会が西区全体をつなげる重要な役割を担っていることを大変心強く感じています。

西区役所といたしましても、「環境に優しいまちづくり」を積極的に進めていくとともに、区一丸となった環境活動がさらなる広がりをもたせることを祈念しております。

平成27年3月

西区長 広川 英人

